

記載例

提出用

更新申請書類一覧

種別	氏名または名称
個人・法人	株式会社〇〇設備

更新申請に必要な書類一覧

書類番号	個人	法人	提出物一覧	チェック欄	永平寺町 使用欄
1	○	○	更新申請書類一覧（本表）	✓	
2	○	○	指定給水装置工事事業者指定申請書 （様式第 1 号）	✓	
3	○	○	機械器具調書 （別表）	✓	
4	○	○	誓約書 （様式第 2 号）	✓	
5	○	○	給水装置工事主任技術者選任・解任届出書 （様式第 3 号）	✓	
6	○	○	給水装置工事事業者更新時確認書 （別紙 1）	✓	
7	—	○	定款 （写し）	✓	
8	—	○	商業登記簿謄本（履歴事項全部証明書等） （原本）	✓	
9	○	—	代表者の住民票の又は外国人登録済証明書 （写し）		
1 0	○	○	選任給水装置主任技術者免状 （写し）	✓	
1 1	○	○	指定工事店証（旧） （原本）	✓	

個人・法人で提出書類が異なります。○で記載された書類が必要となりますのでご注意ください。

役員(業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者)の氏名		
氏 名	氏 名	氏 名
ダイヒョウトリシマリヤク 代表取締役	スイドウ 水道	タロウ 太郎
カンサヤク 監査役	スイドウ 水道	ジロウ 次郎
事業の範囲	管工事業、給排水設備工事業、水道工事業 など	
機械器具の名称、性能及び数	別表のとおり	

記載例

別表

機 械 器 具 調 書

〇〇年 〇月〇〇日現在

種 別	名 称	形式、性能	数 量	備 考
管の切断	金切りのこ	固定式鋸弦	2	
	パイプカッター	RB-80-CV (13～150mm)	1	
	パイプ万力		1	
	バリ取り工具		1	
管の加工用	パイプベンダー	1/2～1 1/4インチ	2	
	やすり	中目	5	
	パイプねじ切り器	N-100A	2	
接合用	トーチランプ	ガスボンベ式	3	
	パイプレンチ	13～100mm	1	
	スパナ		3	
	電気ヒータ		1	
水圧テストポンプ	テストポンプ	T-50K-P (手動式)	1	
・ 上記はあくまで参考です。 ・ 各「種類」ごとに最低 1 つ以上は機械器具を有することが必要です。 ・ 数量も漏れのないよう記載してください。				

記載例

様式第2号(第4条、第7条関係)

誓 約 書

指定給水装置工事事業者申請者及びその役員は、水道法第25条の3第1項第3号イからホまでのいずれにも該当しないものであることを誓約します。

〇〇年 〇月〇〇日

申請者

氏名又は名称 株式会社〇〇設 ⑪
住 所 水道市〇丁目〇番
代 表 者 氏 名 水道 太郎

- 次のいずれにも該当しない者であること
- ・ 水道法施工規則第二十条の二に規定する精神の機能の障害により給水装置工事の事業を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
 - ・ 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
 - ・ 水道法に違反して刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
 - ・ 給水装置工事に関し、不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足りる相当の理由がある者

給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称		
上記事業所で選任・解任する給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号	選任・解任の年月日
水道 太郎	第〇〇〇〇〇〇号	令和〇年〇月
水道 次郎	第〇〇〇〇〇〇号	令和〇年〇月

記載例

永平寺町指定給水装置工事事業者 更新時確認書

〇〇年 〇月〇〇日

氏名又は名称 株式会社〇〇設備

郵便番号、住所 〒〇〇〇〇-〇〇〇〇
水道市〇〇丁目〇番

代表者名氏名 水道 太郎

電話、FAX番号 TEL 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

この確認書は利用者の利便性向上を図るため、貴工事店の業務内容や営業時間等の情報を確認するた
めのものです。また、本確認書により指定工事店の適否に関係することはありません。

指定給水装置工事事業者の業務内容

休業日、営業時間（修繕対応時間もご記入ください。）	（公表 ☒ 可・不可）
休業日：土日祝日・年末年始 営業日：月～金 営業時間：8：00～17：00 修繕対応可能時間：8：00～17：00	
漏水等修繕対応の可否 （該当部に○をつけてください。詳細な内容を記載することも可能です。）	（公表 ☒ 可・不可）
☒ 埋設部の修繕 ☒ 屋内給水装置の修繕 その他（	）
対応工事種別（新設・改造 等） （該当部に○をつけてください。）	（公表 ☒ 可・不可）
配水管からの分岐 ～ 水道メーター （ ☒ 新設・改造） 水道メーター ～ 宅内給水装置 （ ☒ 新設・改造）	

※公表には、ホームページ等への記載を含みます。

記載例

給水装置工事主任技術者等の研修受講実績（過去5年以内）

水道法施工規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

4 給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事する者の給水装置工事の施工技術の向上のために、研修の機会を確保するよう努めること。

受講者名 (公表対象外)	研修会名、実施団体	受講年月日
水道 太郎	給水工事技術振興財団 eラーニング	○年○月○日
水道 次郎	自社研修 ○○に関する研修	○年○月○日
上記内容の公表の可否（公表には、ホームページ等への掲載を含みます。）		
可 ・ 不可		

- ・ 自社内研修については、研修内容を記載してください。
- ・ 行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等をしてください。

記載例

過去 1 年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況

水道法施工規則第 36 条

法第 25 条の 8 に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。(以下抜粋)

工事を施工しない場合は□にレ点を記入

□「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施工しないため不要

過去 1 年以内の工事経験がない場合は、直近の状況を記載してください。

技能を有する者の氏名 (公表対象外)	配水管への分水栓の取付・せん孔、給水管の 結合、いずれの経験も有しているか (○か×を記入)	資格を有しているか (○か×を記入)	
			保有している資格等※
水道 太郎	○	○	講習会修了者
水道 次郎	○	○	検定会合格者
上記内容の公表の可否 (公表にはホームページ等への記載を含みます。)			
可 不可			

※以下に示す保有資格等 (下線部) を記載してください。

- ①水道事業者等によって行われた試験や講習により、資格を与えられた配管工
- ②職業能力開発促進法 (昭和 44 年法律第 64 号) 第 44 条に規定する配管技能士
- ③職業能力開発促進法第 24 条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の配管科の課程修了者
- ④公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の取得に係る講習の課程修了者
(配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定)

- ・資格を証明する書類 (資格証等) の写しを添付してください。
- ・行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。